

2時間で巡る

ならまち

まちあるきMAP

元興寺旧境内を巡る



元興寺旧境内を中心に
発展したならまち。
元興寺由来の
スポットが点在!

まちあるきスポット

A

世界遺産元興寺

B

元興寺（塔跡）

C

庚申堂

D

十輪院

E

御霊神社

F

奈良町にぎわいの家

G

ならまち格子の家

H

奈良町からくりおもちゃ館

I

奈良町南観光案内所「鹿の舟」

※所要時間は目安です。決まったルートはありませんので、自由に散策できます。



A 世界遺産元興寺



平城遷都の際に日本初の本格的寺院である法興寺(飛鳥寺)を前身とし新築移建しました。南都七大寺の一つで広大な寺域を有していましたが、現在は極楽堂と禅室(ともに国宝)が残されています。屋根に残る飛鳥・奈良時代の瓦も必見。

☎ 0742-23-1377 ☑ 9時～17時 休なし ¥ 500円

B 元興寺(塔跡)



元興寺(塔跡)には、幕末の安政6年(1859)までは元興寺の五重塔が建っていました。その高さは興福寺五重塔(約50m)を超える72mであったと言われていています。現在は、当時の礎石が残り、境内では四季折々の花々を楽しめます。

☎ 0742-22-5218 ☑ 9時～17時 休なし ¥ なし

C 庚申堂



青面金剛・吉祥天女・水子地藏・千体地藏などを祀るお堂。元興寺の西金堂だったとされる吉祥堂が荒廃後、町内で本尊などを保護し祀られたと伝わります。

☎ なし ☑ 終日 休なし ¥ なし ※お祭りの日のみ開扉、それ以外は外観のみ見学可。

D 十輪院



奈良時代の元正天皇の勅願寺です。元興寺の一子院とも伝えられているお寺。鎌倉時代の石仏龕はとても珍しく、現在の本堂はもともと石仏龕を拜む礼堂として建てられました。

☎ 0742-26-6635 ☑ 10時～16時30分 休月曜(祝日の場合火曜)、12月28日～1月5日、1月27日～28日、8月16日～31日 ¥ 500円 ※法要中は、本堂内の拝観はできません。

E 御霊神社



もともとはここより南の井上町にあり、宝徳3年(1451)の火災で焼失して以後、現在の地に遷され、元興寺の鎮守社としての役割を持つようになったと伝わる神社です。毎年10月13日には氏子域を神輿が練り歩きます。

☎ 0742-23-5609 ☑ 8時～16時30分 休なし ¥ なし



礎石、道の話



礎石(世界遺産元興寺)

創建当初の元興寺の境内は、南北4町(約440m)、東西2町(約220m)と大伽藍でしたが、度重なる罹災により次第に衰微し、鎌倉時代には広大だった境内が狭まり、新たに家々が建ち並ぶようになります。現在の元興寺周辺には「中新屋町」「西新屋町」「芝新屋町」といった町名が残っていますが、これはかつての境内地に新たにできた町です。かつての境内の堂宇の間の道が、今の道になっているため狭く入り組んでいるのが特徴です。また付近では家の敷地から礎石が出てくることもあり、世界遺産元興寺、奈良市史料保存館、奈良町物語館で、町から出てきた礎石を見ることができます。

F 奈良町にぎわいの家

遊び心、センスを感じる百年の町家です。茶室や15畳もの広い座敷、金箔の張られた仏間、襷絵や装飾といった生活文化を体験できます。蔵を利用した展示スペースもあります。



☎ 0742-20-1917
☑ 9時～17時
休 水曜(祝日の場合は開館、休館日が変わります)、12月29日～1月3日
¥ 無料
WC 開館時間のみ利用可能

H 奈良町からくりおもちゃ館

奈良町の伝統的な町家の空間で、復元された江戸時代のからくりおもちゃに触れて遊ぶことができる体験型施設です。



☎ 0742-26-5656
☑ 9時～17時
休 水曜、祝日の翌々日の平日、12月29日～1月3日
¥ 無料
WC 開館時間のみ利用可能

G ならまち格子の家

奈良町の伝統的な町家を再現しています。江戸時代から明治時代の町家の昔ながらの生活様式に直接触れることができる施設です。



☎ 0742-23-4820
☑ 9時～17時
休 月曜、祝日の翌平日、12月26日～1月5日
¥ 無料
WC 開館時間のみ利用可能

I 奈良町南観光案内所「鹿の舟 蘭」

大正時代の邸宅を活用した観光案内所。蔵を使った展示室や1000冊以上の蔵書を閲覧できる読書室を併設。敷地内には本物のかまどで炊いたご飯が美味しい食堂「竈(かまど)」やティールーム「轉(さえずり)」も。



☎ 0742-94-3500
☑ 9時～17時
休 無休
¥ 無料
WC 開所時間のみ利用可能